

日 時：平成 28 年 9 月 1 日（木）18 時 30 分 ～20 時 03 分

場 所：中佐渡集落会館

対象地区：中佐渡・長田

参加人数：8 名

■意見交換

内 容
<p>○会館施設の補助とこれからについて</p> <p>（市民からの要望、質問）</p> <p>当会館の厨房床が半分落ちかかっていたことについて、補助して補修していただいたことに感謝している。この会館は築二十数年経過し、所々傷んでおり、今後も補修が必要となってくると思われる。補修時は 10 万円までは町会負担で、越えた分の約 75%は補助して頂けるということで、少しでも町会負担を減らしたいと思う。他の町会では、今年度建て替えると聞いているが、当町会施設は平成 45 年頃を予定しているということなので、それまでには少しでも蓄えて、個別負担が無いように積み立てをし、なるべくそれに手をつけないようにしたいと思う。少しでも市の方で補助して頂きたいので、よろしくお願ひしたい。</p> <p>（市の回答）</p> <ul style="list-style-type: none">・中佐渡の町会施設は平成 6 年に建築したが、長田町会施設は、既に築 33 年経過して耐震基準を満たしていない状況にある。現在、市内において耐震基準を満たしていない町会施設が 19 箇所ある。これを 1 年に 1 億円の予算で 2 箇所ずつ対処していきたいと考えている。・今年の猿賀、南田中の 2 つの町会施設の建て替えを実施し、当初は 1 箇所でも 5 千万円ほどの予算で計画していたが、資材単価の高騰等により、1 箇所当たり 8 千万ほど改修費がかかり苦しい思いをしている。しかし、町会施設は災害時の避難場所となるので、耐震基準を満たしていない施設はやらなければならないということで進めている。 <p>（市民からの要望、質問）</p> <p>これからもいろいろ直さなければならないところはあるのだが、出来るだけ町会負担も少なく、市の方の補助もできるだけ少ない形でいただき、お互いに負担が少なくなるようにしながらも少しずつでも長寿命化させていかなければいけないのかなと思う。しかし、要望した時に 1 年、2 年待ってと言われても建物の老朽化は待ってくれない。この辺では大きな災害等も少ないことから、長寿命化は出来るのかと考えられる。</p> <p>先ほど言われた建設単価が上がっているということで、もし、当町会施設の立替時に予想以上に経費が掛かって町会負担が 1 千万、2 千万円となったとき、これを個別負担するとなれば、町会施設は要らないということになりかねる。なので、例えば尾上庁舎を貸して頂けるシステムがあれば、うちの方の町会も維持管理しなくても良い分だけ、負担が減るのかなど。そういう方法も市の方で模索して頂ければと思う。</p>

(市の回答)

- ・先週、みなみの町会と懇談会を実施し、元「木村商店」の建物を町会施設とすることは出来ないかという話があがったが、現在みなみの町会の皆さんには尾上庁舎を使って頂いている。不便なのは飲食できないということと、閉館の時間が早いということの2つがあげられていた。これらの問題点については可能になる方向性でいきたいと考えている。新しく施設を建てるより、尾上庁舎を使ったほうが有利となるという意見もあった。町会長が言われたことは、新庁舎を建設するという上で、尾上庁舎をどのように活用していくかという議論の中で可能なことになっていくのかなと思う。
- ・耐震基準を満たしていないというところでも、全て改築ということでは無くして、耐震補強をして長寿命化を図るという町会もあると聞いている。町会での話合いや、いくら古くても基礎がしっかりしているなど、建物の構造によっては戻せることもあるので、これは状況に応じてケースバイケースで対応して頂ければと思いますし、それに合わせて市の方でも対応したいと考えている。

○平成 27 年度事業要望事項（側溝の悪臭対策）について

(市民からの要望、質問)

昨年度の町会事業要望において、側溝の悪臭について要望した。平成 28 年度に悪臭について調査を実施し、対策について検討していくということであったが、その後の連絡が無く、どういう状況にあるのか分からない。

(市の回答)

- ・昨年度の町会要望の側溝の悪臭については、調査を実施し、町会で側溝の泥上げを行っていただくようお願いするという事で回答済みである。
- ・調査に関しては昨年度に実施した。内容としては、蓋の掛かった側溝ではあるが、泥が溜まっていることと、下水道に加入していない方からの排水による悪臭ということであった。

(市民からの要望、質問)

町内で対応できることは町内で対応したいと思っているので、調査結果や対処方法、場所などを詳しく示したものをいただきたい。

(市の回答)

- ・泥が溜まっている区間や悪臭がしている区間が分かるように整理し、図面等を町会長にお渡しする。必要であれば側溝の蓋を上げる道具も貸出しする。

○ロードミラーについて

(市民からの要望、質問)

町会内のロードミラーがくすんでしまい、見えない。これは町会で対処するのか、市の方でやって貰えるのか。もし、町会で清掃した場合などは費用がかかる。詳しく教えて頂きたい。

(市の回答)

- ・見えにくい場所については、総務課か尾上総合支所の方に伝えていただければ、現場を見て対応する。町会でカーブミラーを清掃する費用については、市の方で負担するという事は行っていない。これについてはボランティアということでご理解いただきたい。現場を見て何も見えないようであれば、市の方で交換している。だが、交換して欲しいという要望は何箇所もあるので優先順位の高いところから対処している。

○市役所と民生委員における福祉関係の情報の共有について

(市民からの要望、質問)

民生委員として高齢者の声掛けをして周っているが、その中でも言動が気にかかる一人暮らしの方がおり、特に注意して、毎日家を訪問していた。3月末頃、鍵がかかっており、出かけているのかと思った。4月に入り、毎日寄るも鍵がかかっており、4月4日に行った時も鍵がかかっていたので心配になった。社協に電話するも担当不在であったため、市のケアマネージャーに電話すると「入院している」との一言であった。こちらはその方の言動を心配して毎日通っていたのに、連絡もないのはおかしいのではないか。そういうことをしっかり連絡するような体制にしてもらえないか。現状の連絡体制はどのようになっているのか。

(市の回答)

- ・一人暮らしの高齢者が入院等した場合は、民生委員に連絡した方が良いと思う。今回そのような連絡はなかったということなので、これからはきめ細かな対応をするように伝えておく。
- ・ケアマネが全て把握しているとは限らないが、地域の担当している民生委員の方に連絡する等の連絡方法を担当課に考慮してもらおうようにする。

○農村公園内の高木について

(市民からの要望、質問)

農村公園内にある高木を小さくするか、伐採して貰いたい。秋になると枯葉がたくさん落ちて、裏の畑の人にも迷惑がかかり、町会で管理することが出来ない。これからも大きくなっていくと思うので、苦情等が来る前に対応して貰いたい。

(市の回答)

- ・場合によっては伐採も視野に入れたいと思うので、現場を確認してから対応させていただきたい。

○各町会で管理している会館について

(市民からの要望、質問)

町会施設において、町会で所有している施設数はいくつあるのか。

(市の回答)

・現在平川市においては 67 町会があり、50 の施設がある。うち中佐渡、広船、新屋、高木町会においては、町会所有施設となっている。

○中佐渡鎌田地区の道路におけるトラックによる揺れ、騒音について

(市民からの要望、質問)

下水道の配管により、市道に段差がついており、荷物を積んでいるトラックが通るとすごい音と振動がする。ある家では修学旅行生を受け入れし、宿泊させたりしている。修学旅行生も驚いている。今言った所は緊急性があるため取り上げたが、同様の下水道の配管による市道の段差は他にもあるので見直しして頂きたい。

(市の回答)

・一緒に現場を確認して、対応する。

○サワラの処理方法について

(市民からの要望、質問)

剪定したサワラをどのように処分すればよいのか。

(市の回答)

・黒石の清掃施設組合で有料にて受け入れしている。

○中佐渡村元地区の歩道の危険箇所について

(市民からの要望、質問)

中佐渡町会内は歩道が広い。その歩道において縁石の近くに 20~30 センチほど穴が開いている箇所がある。危険であると思うので直して貰いたい。

(市の回答)

・早急に現場を確認し、対応する。

○宝くじの補助申請について

(市民からの要望、質問)

中佐渡町会では、平成 19 年度に宝くじ補助事業の補助を受けており、その後も申請しているが受けていない。昨年の応募町会がわかれば教えていただきたい。

(市の回答)

- ・申請数についてはかなりあると記憶している。この補助事業は、県を通じて協会へ提出し、協会で決定しているため、市の方には決定権等はない。

○中佐渡前田地区の道路側溝について

(市民からの要望、質問)

前田地区の側溝について、逆勾配なのか、雨が降ると水が溜まり処理できない。

(市の回答)

- ・現場を確認し、雨が降ったときの状況を見ながら、町会長へ連絡する。

○行政から町会への委員等の推薦依頼について

(市民からの要望、質問)

先ほど民生委員の話があったが、今年 12 月で任期が終わり、次の人を探さなければならぬが、やる人がいなくて探すのが大変である。行政が町会に預けるというシステム自体も考え直して欲しい。違う方法で民生委員を決めることは出来ないか。民生委員を推薦してくださいと依頼が来るものの、中々手を挙げる人はいないし、お願いをしにいても絶対断られる。現役で働いている人はまず無理で、地域を把握している人となると高齢になってしまい、最後には町会長がやらざるを得ない。果たしてそれでいいのかと思う。この辺も市の方で一度考える機会があればと思う。

(市の回答)

- ・民生委員をやる人がいないというのは、全国的な傾向の様である。やる人がいないから町会長がやるのも大変だと思う。国の制度が変わり、委員一人当たりの受け持ち件数が増えたことにより、負担が増え、ますます探すのが大変であると思う。民生委員の方の力をお借りしなければ、高齢化社会での地域の福祉が成り立っていかないので、何とか地域の中でやってもらえる人を探していただきたい。お互いに助け合っていくという互助の考え方の基、今の地域コミュニティを何とかご理解いただきたい。

(市民からの要望、質問)

考えは良く分かるが、現実的にはかなり厳しい状況にある。当町会は 100 世帯ほどであるが、もっと小さい町会、例えば 40 世帯とかの町会では全員が見守られる側の状態になるところも出てくるかと思う。こうなった場合どう対応していけばいいのか、町会で分からないのが現実だと思う。当町会でもやって頂ける方を何とか探してやっているが、今後見

つからなければ町会で協力しながらやって行きたいとは思っている。しかし、将来のことを考えるとこのままでいいのかと思うので、市の方でも危機感を持っていただきたいと思い、話させていただいた。

(市の回答)

- ・民生委員に限らず、他に町会に協力を依頼していることもあるので、市としてどのようなことが出来るのか協議していきたいと思う。
- ・平賀の松崎小学校区をモデル地区として、地域自治組織という町会を越えた規模で集まってもらって検証事業をしている。町会長が言われたように高齢化社会が進むと、役員の成り手がいない、町会として活動出来なくなるといったことが想定されるので、近隣の町会が集まって一つの組織として互いに助け合っていくということをやりたいと考えている。

○ふるさと納税の収支について

(市民からの要望、質問)

先日、新聞に平川市のふるさと納税について掲載されていた。このふるさと納税について、収入額はわかるが、平川市民が他市町村へふるさと納税して、実質出ていっている分は把握しているのか。

(市の回答)

- ・平川市民の他市町村への納税額については、資料がなく今答えられないが、市としてのプラスマイナス面で説明すると、平川市は地方交付税を受けている市になるので、市民の方が他市町村へ納税することによる税の減収分については、地方交付税で補填されているためマイナスになることはない。
- ・昨年度、平川市は1億6千万円の寄附があり、市の収入となったのは約半分です。返礼品代や送料、業者委託料等の諸経費を除くと大体47%となる。金額にして7千5百万ほどとなり、市として自由に使うことになる。ふるさと納税の寄附者に寄附していただく際に何に使って欲しいかアンケートをとっており、それを基にしながら市の活性化の事業に活用させて貰っている。一般財源ではなかなか出来ない事業などを行っている。

○中佐渡上石田地区の道路の路肩について

(市民からの要望、質問)

この地区の市道において、路肩が無く、冬除雪すれば見えなくて転落の危険があるので、路肩を作っていただきたい。

(市の回答)

- ・現場を確認し、町会長へどのような対応が可能か連絡する。